

委員名：研究活動推進委員会

委員会開催日：2024年9月20日、11月1日

1. セミナーの企画意図

実際の臨床現場で研究の種（シーズ）を見つけ、それをどのように研究へとつなげ、実装していくかについて学ぶことを目的とした。研究を実践してきた専門看護師と作業療法士を招き、講演やパネルディスカッション、質疑応答を通じて、そのプロセスを詳しく学ぶ機会を提供するセミナーを企画した。

2. 開催日時:2025年3月1日(土) 13時30分～15時30分

3. 開催方法:ZOOMを利用したオンラインライブセミナー

4. 参加者数:83名(会員65名、非会員18名)

5. セミナーテーマ:「高齢者ケア実践現場における研究シーズのみつけ方と研究へのつなげ方」

6. プログラム: I. 開会

亀井智子委員長

II. 講演

1. 「身体拘束最小化のための実装研究」

川口市立医療センター 老人看護専門看護師・DNP 大友晋氏

2. 「作業療法士の臨床推論に関する教育介入研究」

湘南慶育病院リハビリテーション部長 丸山祥先氏

III. パネルディスカッション

パネラー 五十嵐歩委員、百瀬由美子委員、大友晋氏、丸山祥氏

IV. 質疑

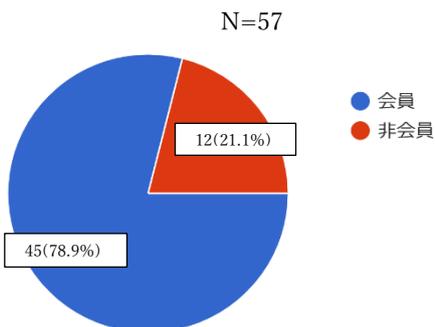
司会:深堀浩樹委員、加藤エリカ委員、回答者:大友晋氏、丸山祥氏

7. 参加者アンケートの分析結果

1) 回収数：57件(回収率68.7%)

2) 回答者の特性

(1) 種別



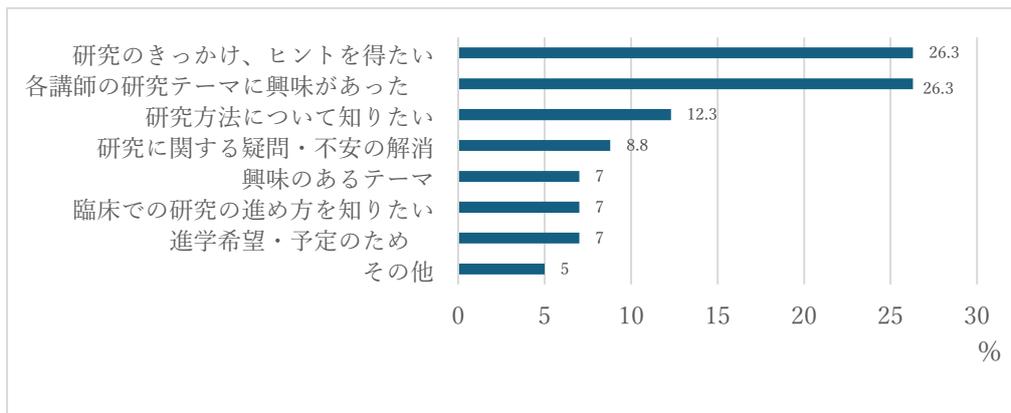
(2)所属、臨床経験年数、研究経験年数

所属先	回答 N=57(%)	臨床経験 N = 57				研究経験 N = 57			
		3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
病院	35(61.4)	-	-	2	33	27	3	2	3
教育機関	15(26.3)	-	1	5	9	2	3	3	7
訪問看護ステーション	3(5.2)	-	-	-	3	1	-	-	2
その他	4(7.2)	1	-	-	3	3	-	1	-

3)セミナーについて

(1)受講動機

N=57

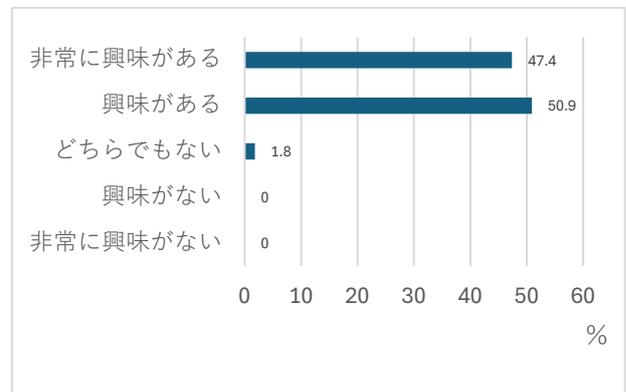
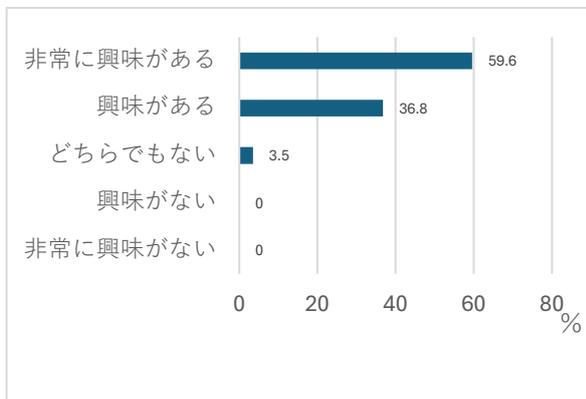


(2)テーマへの関心

大友氏のテーマについて

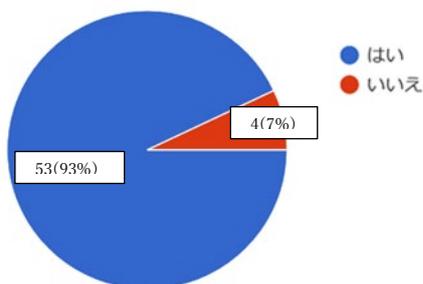
丸山氏のテーマについて

N=57



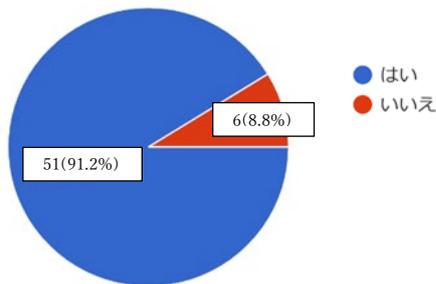
(3)セミナーは期待通りであったか

N=57



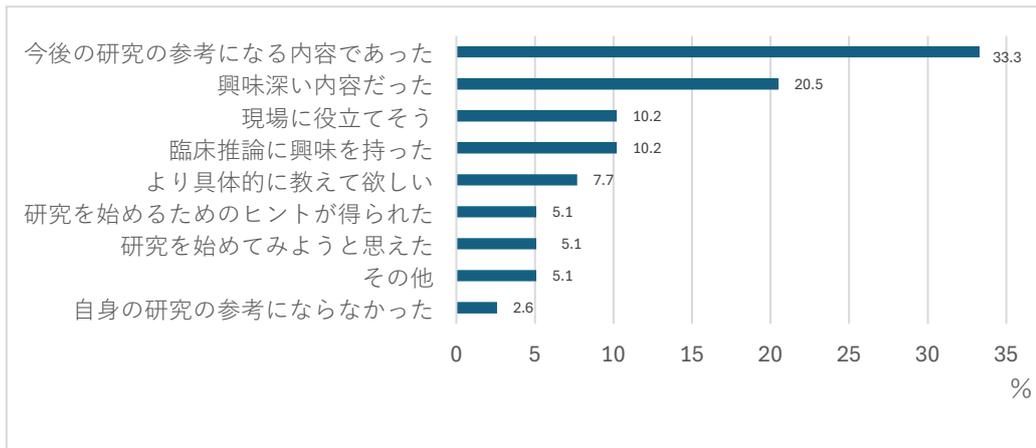
(4)今セミナーが実践現場で活かせると思うか

N=57



(5)自由意見のまとめ

N=39



8. 評価

1)参加者の特性について

事前申込者の95%が当日参加し、95%が現場の看護師であった。アンケート回答者のうち84.2%が臨床経験10年以上の看護師で、研究経験3年未満が57.9%であり、研究経験が少ない参加者が半数以上であった。受講動機は「研究のきっかけ・ヒントを得たい」と「各講師の研究テーマに興味があった」がそれぞれ26.3%と最も多く、次いで「研究方法について知りたい」12.3%、「研究に関する疑問や不安の解消のため」8.8%であった。これより、臨床現場でキャリアを積みながら研究への関心が高いものの、研究経験が少ない層が多く、研究を進める上でのヒントを求めていると考えられる。

2)参加満足度について

セミナー後のアンケートでは、93%が「期待通り」と回答し、91.2%が「実践現場で活かせる」と評価した。そのため、参加者の満足度は高かったと考えられる。

自由記載では「研究を始めてみようと思った」「教育方法が大変参考になった」など、肯定的な意見が大多数であった。一方で「安全に研究を進めるためのサポートや、大学の支援の活用方法について詳しく知りたかった」という声もあり、さらなる情報提供のニーズが伺えた。

9.まとめ

2024年度の当委員会が企画したセミナーは、オンラインライブ形式でありながら、事前申し込み、資料配布、当日の進行ともに円滑に実施された。現場の看護師の研究に対する関心が非常に高く、セミナー後の満足度も高かったことから、ニーズに応えたセミナーであったと評価できる。

講師、また、熱心に受講された参加者にはあらためて謝意を申し上げたい。